

86.3.15

No. 2192

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄電)三九三五六・(公衆)〇四七二二二七〇七

三・三〇三里塚は、中曾根打倒への突破口だ。反対同盟の成田用水年度内完成二期本格着工策動粉碎の闘い、動労千葉の第二波闘争の爆発は、中曾根の反動的政治プランをガタガタにしている。中曾根打倒は全く可能だ。労農連帯の真価にかけ、二期阻止、不当処分粉碎・広域配転攻撃阻止・「61・11ダイ改」阻止・十万人首切り阻止の巨大な突破口を切り拓こう。

三・三〇は 国鉄決戦そのものだ

三・三〇は、国鉄決戦そのものだ。
中曾根は、一月国鉄・三里塚を叩きつぶし—四月五月天皇六〇周年—東京

サミット—総選挙—今秋、国鉄国会、総決算の完遂という反動的プランを日論み、その最大の突破口に国鉄をすえていたのである。そのためにこそ、三塚を運輸大臣にすえ、動労革マルを手先に「労使共同宣言」を発出させ、動労千葉に対する見せしめ的大量処分を強行するなど、凶暴な総屈服・総転向—国鉄労働運動の解体攻撃にうつて出てきた。

しかし、われわれは、これを敢然とはね返し、一カ月以上にわたる第二波闘争を貫徹し、反撃の突破口を切り拓いたのである。

この成果を引きつぎ、国鉄決戦に絶対に勝利する要こそ中曾根の反動プランをズタズタにし、中曾根を打倒することだ。そのためこそ職場・生産点の闘いと政治闘争を結合させねばならない。3・30決戦の三里塚に決起することこそ、その突破口だ。

三里塚・国鉄で 中曾根を打ち倒せ

二〇年目の三里塚は最大の正念場だ。反対同盟は、東峰十字路裁判長期重刑策動をはね返し、成田用水年度内完成を粉碎し、二期阻止へ向け突き進んでいる。中曾根のプランは、いたるところで破産と矛盾を露呈している。三里塚・国鉄決戦で中曾根に引導をわたそうではないか。

五割決起こそ
「61・11」—
「62・4・1」
粉碎の突破口

成田用水強制測量を体を張って阻止お農民
は、二波にわたるス



成田用水強制測量を体を張って阻止お農民

処分攻撃
10時、成田運転支区へ
堂々登場しよう